

つながる光、ひろがる未来、50年  
50周年記念誌



〒940-0013 新潟県長岡市原町2丁目2番地 25  
TEL(0258)24-3600 FAX(0258)24-3777 E-mail:info@ohara-ew.co.jp



 大原電業株式会社



つながる光、ひろがる未来、50年



# 創立50周年を むかえて

代表取締役社長  
大原興人



当社は、今年めでたく創立50周年を迎えることができました。

創業以来68年、そして創立以来50年という永きにわたり、お引き立てを賜りましたお客様、ご支援を賜りました関係会社の皆様に心より感謝申し上げます。また、当社の社業発展に尽力して頂いた先輩方々および社員の皆さんにも感謝の意を表します。

当社は電気工事という仕事を主体に事業活動を営んでおりますが、常に安全かつ信頼のおける仕事を目指して、実績を重ねてきたことが今日の礎となっております。今後も、この基本姿勢を貫き、お客様に満足して頂ける仕事をして参ります。そのためにISO9001の運用、コンプライアンス体制の整備、技術水準の向上など真摯に取り組んでおります。

グローバル化された世界の中で、私たちの経営環境は目まぐるしく変化しております。今後は更に変化のスピードが加速されると思われませんが、安全と信頼という基本理念は変わることなく守り通さなければなりません。

私たちは創立50周年という記念すべき節目にあたり、会社経営の基本を確認し、社員の皆さんと共に心を新たにして組織の活性化と会社の革新を追求し、会社の発展を求めていきたいと思っております。



創立50周年を  
むかえて



代表取締役専務  
白井芳夫



当社は1965年8月に創立し、今年で満50周年を迎える事ができました。

これもひとえにお引き立てを賜りましたお客様ならびに協力会社の皆様方の賜物と衷心より感謝を申し上げますと共に、社員の皆さんに感謝申し上げます。

50年の年月には幾度かの苦難の時期もあったようですが、役職員全員のチャレンジスピリット、そして強いリーダーシップをその度に発揮し、決して屈することなく難局を乗り越えて来られた諸先輩方に心より敬意を表し、深く感謝申し上げます。

平成23年の東日本大震災以降、私どもの業界もご多分に漏れず大変厳しい状況となり、今後、電力の全面自由化や電力会社の発送分離、少子高齢化が進むことによる中長期的な人手不足など、今後も乗り越えて行かなければならない諸問題への対応は勿論、これからの20年、30年先の会社の方向性を見据えた中で、常に「今、やらなければならない事は何か」を問いながら安定的発展を目指して行かなければならないと考えております。

ここに50周年という大きな節目を迎えられた事を社員一同と祝い、当社の伝統でもある「チャレンジ精神」を継承しつつ、未来に向けて決意を新たに全社一丸となって目標に立ち向かっていく所存です。

今後とも何卒ご支援ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

# 50年の歩み

1965年の創立以来、電気の安定供給の一翼を担う企業として、  
数多くの実績を積み重ねてまいりました。

「つながる光、ひろがる未来」

創立50周年の節目に、これまでの歩みを振り返るとともに、

今後も多様化するニーズにお応えし、

次の50年(みらい)に向けて全力で走り続けます。



1947年(昭和22年)創業時社員



1951年(昭和26年)工事写真



1957年(昭和32年)電源開発工事



1959(昭和34年)高田変電所点検



1958年(昭和33年)末沢PS工事

- 昭和22年 4月 — 1947
  - (株)大原鉄工所電業部として、長岡市長町1丁目に創業  
(称号-通称名 大原電業社)  
責任者 常務取締役 大塚弥三次  
従業員 14名
- 昭和23年 — 1948
  - 北越銀行本店改修増設工事
  - 日本発送電(株)信濃川電力所電話線工事
- 昭和24年 — 1949
  - 大割野・榑田配電柱建替工事
- 昭和25年 — 1950
  - 大塚弥三次 第2代目新潟県電気工事工業共同組合長岡支部長に就任(S.25.4~S.29.4)
  - 新潟県産業復興博覧会場外線工事
- 昭和26年 — 1951
  - 新潟県電気工事工業共同組合 長岡支部の事務所を当社内に設ける(昭和33年10月まで)
  - 関山開拓部落(未点灯部落)
- 昭和27年 — 1952
  - 長岡水道局浄水場増設工事(動力・電灯)
  - 藪神線60KVルート変更工事  
当社として最初の鉄塔工事(3基)
- 昭和28年 — 1953
  - 新潟県設備工事協同組合加入
  - 越後幹線150KV新設工事
- 昭和29年 — 1954
  - 奥只見電源開発関連工事 ~昭和43年
- 昭和31年 — 1956
  - (社)日本電設工業協会加入
  - 奥只見電源開発関連工事 継続中
  - 北越製紙(株) 66KV変電所工事
- 昭和33年 — 1958
  - (株)大原鉄工所 変電所工事
- 昭和34年 — 1959
  - 東北電力(株) 青梅変電所工事
  - 北陸地建 工用三俣変電所工事



# 1960-1974

OHARA HISTORY



OHARA HISTORY

- 1960 昭和35年
  - 東北電力(株) 日吉変電所工事
  - 東京電力(株) 中部第一発電所工事
- 1961 昭和36年
  - 責任者 電業部長 近藤一男
  - 東北電力(株)新潟支店より、第2室戸台風の復旧工事に対して表彰される
  - 東北電力(株) 稲田変電所工事
- 1962 昭和37年
  - 東北電力(株) 高田変電所昇圧60KV工事
- 1963 昭和38年
  - 新潟県立長岡高等学校体育館電気事業工事
- 1964 昭和39年
  - 責任者 電業部長 皆川修三
  - 皆川修三 第5代目新潟県電気工業共同組合長岡支部長に就任(S.39.4~S.47.4)
  - 東北電力(株)新潟支店より、新潟地震の災害応援復旧に対して表彰される
- 1965 昭和40年
  - (株)大原鉄工所より、分離独立、大原電業(株)として発足  
資本金600万円  
発足時役員  
代表取締役社長 大原松夫  
代表取締役専務 皆川修三  
取締役 佐藤 廣  
取締役 小島六良  
監査役 八子徳義
  - 就業規則制定
  - 東京電力信濃川電力所請負業者安全協議会加入
  - 新潟高周波工業(株) 工場建設電気工事
- 1966 昭和41年
  - 電源開発(株) 岩越電力所と特別高压架空電線路の非常災害の予防又は応急復旧の協定書を締結(S.41.10.20~S.42.10.19)
- 1967 昭和42年
  - 上村清二郎 取締役就任
  - 城岡(変)増設工事 第2期電気基礎撤去工事
  - 上越1号線雷害防止工事
  - 新潟県母子休養ホーム「しらゆり荘」電気工事



1960(昭和35年)糸魚川変電所



1962年(昭和37年)電源開発工事



1965年(昭和40年)初代社長・大原松夫



1965年(昭和40年)ヘリ輸送



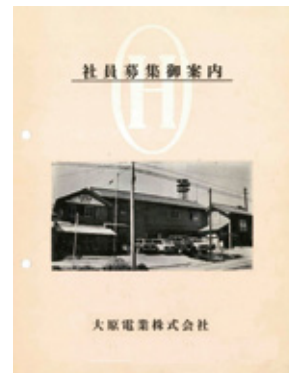
1973年(昭和48年)安全大会



1974年(昭和49年)送長会安全祈願



1970年(昭和45年)日光旅行



1973年(昭和48年)社員募集



1974年(昭和49年)送長会野球大会



昭和43年 1968

- 中川 孝 取締役就任
- 加茂(変)容変工事
- 中越南線雪害防止工事
- 新潟県中小企業共同工場三条団地作業用具グループ電気工事

昭和44年 1969

- 取締役 小島六良辞任
- 西三条(変)容変工事
- 国鉄柏崎線新設工事
- 日本専売公社長岡工場除雪方式導入に伴う電動装置新設その他工事

昭和45年 1970

- (社)鉄道電業研究会加入
- 南長岡(変)増設工事
- 礼拝線雪害防止工事
- 長岡市消防庁舎新築電気設備工事

昭和46年 1971

- (社)新潟電業協会加入
- 新潟県立長岡高等学校管理棟電気工事
- 長工業(株) 長岡営業所新築電気工事

昭和47年 1972

- 西見附(変)増設工事並びに関連撤去工事
- 宮野原線都市化工事
- 新潟県立長岡高等学校普通教室棟その他電気工事
- 日本専売公社長岡工場電動装置(原料加工)増設工事

昭和48年 1973

- 代表取締役専務 皆川修三、新潟県電気工業工業組合理事長に就任(S.48.5~H4.4)
- 取締役 上村清二郎辞任
- 東京電力請負業者技術経営研究会加入(現在 東京電力電力工事協力会)
- 長岡地区安全運転管理者協会加入

昭和49年 1974

- 就業規則全面改定(第1回目)
- 長岡市原町2丁目に、土地1,641m<sup>2</sup>を購入
- 新潟県農業試験場研究棟電気工事(S.50.6)において労働基準局長より全工事期間の無災害を表彰される
- (社)建設電気技術協会加入
- (社)長岡市電設業協会加入



# 1975-1988

OHARA HISTORY



OHARA HISTORY

1975

昭和50年

- 大塚利弥 取締役就任
- 送新会より職場の労働災害防止9年間無災害に対して表彰される
- 資本金1,500万円に増資
- 月一回の土曜日を初めて休日とする
- 本社を長岡市原町2丁目2番地25に新社屋を建設し移転
- 寄宿舎規定制定



1975(昭和50年)新社屋竣工

1976

昭和51年

- 東京電力(株)信濃川電力所より送電線架空地線張替工事施工の無事故、無災害の表彰される
- 日本専売公社長岡工場製造規模増(第2期)に伴うたばこ電動装置増設その他工事



1975(昭和50年)新社屋(地鎮祭)



1975(昭和50年)新社屋建設

1977

昭和52年

- 比角(変)容変並びに関連撤去工事
- 地蔵堂(変)66KV引出工事
- 向燕線補償金工事



1975(昭和50年)創立10年記念



1975(昭和50年)東電切明発電所

1978

昭和53年

- 北越銀行本店改修増設工事
- 社章、バッジ制定
- 建設業労働災害防止協会加入
- 長岡技術科学大学協会加入



1977(昭和52年)創立記念日

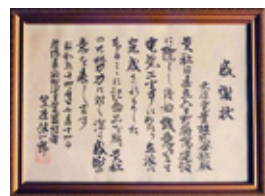


1981(昭和56年)送電現場

1979

昭和54年

- 城岡(変)容変並びに関連撤去工事 電気基礎工事
- 南長岡線都市化対策工事
- 国鉄小千谷～宮内間架空送電線路一部改良工事(その1)
- 新潟県立六日町病院改築電気設備工事
- 長岡市環境衛生センター管理庁舎建設電気工事



1979(昭和54年)六日町病院感謝状

1980

昭和55年

- (社)送電線建設技術研究会加入
- 国鉄小千谷～宮内間架空送電線路一部改良工事(その2)
- 身体障害者療護施設みのわの里療護園建設工事(電気設備工事)

1981

昭和56年

- 東北電力(株)高田送電所より1月の雪害復旧工事に対して表彰される
- 東京電設サービス(株)群馬支社協力会加入
- 国鉄小千谷～宮内間架空送電線路一部改良工事(その3)
- 関越自動車道越後川口IC照明設備工事
- 精神薄弱者更生施設みのわの里更生園建設工事(電気設備工事)



1982(昭和57年)共済会行事



1985(昭和60年)送長会



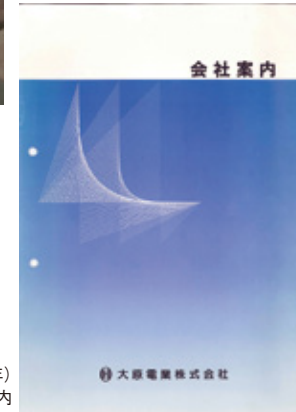
1985(昭和60年)送電倉庫増築



1985(昭和60年)野球部写真



1986(昭和61年)発電現場



1987(昭和62年)会社案内

昭和57年

1982

- 長岡市原町2丁目2番地隣接地の土地660m<sup>2</sup>を購入
- 資本金を2,000万円に増資
- 東北7県電気工事業厚生年金基金に加入
- 東北電力(株)新潟支店より4月の雪害復旧工事に対して表彰される
- 国立上越教育大学共通棟新営電気工事

昭和58年

1983

- 就業規則全面改定する(第2回目)
- 定年2歳延長し57歳定年とする
- 代表取締役専務 皆川修三 黄綬褒章受章(電気事業の発展に関する功績のため)
- 栄(変)増設工事並びに関連撤去工事
- 信濃川下流流域下水道(長岡処理場)管理本館建築附帯電気工事(JV)

昭和59年

1984

- 大塚利弥 常務取締役就任
- 六日町(変)66KV引出工事並びに関連撤去工事
- 東燕(変)6KV大容量化工事
- 新潟三洋電子線新設工事

昭和60年

1985

- 桐島(変)増設工事並びに関連撤去工事
- 来迎時(変)CB取替工事並びに関連撤去工事
- 長岡市立南中学校校舎改築電気設備工事
- 長岡市立大島中学校校舎新築電気設備(管理・特別教室棟)工事
- 愛宕トンネル照明設備設置工事

昭和61年

1986

- 取締役 佐藤廣辞任
- 布川新一 取締役就任
- 庭野秀二郎 取締役就任
- 小千谷～川口間送電線路鉄塔建替工事
- 三条労務電気設備工事
- 長岡市立図書館新築電気設備工事(JV)

昭和62年

1987

- 社屋改修 屋上防水工事及び外壁工事
- 東燕(変)CB設置並びに関連撤去工事
- 城岡(変)容変工事並びに関連撤去工事
- 北陸自動車道花立トンネル照明設備工事

昭和63年

1988

- 藪神(発)直接容変工事及び関連撤去工事
- 東小千谷 架空送電線路No.17～No.28間鉄塔新設工事
- 中東京幹線(中)No.37他基礎改修工事
- 新潟県農業試験場技術研修棟電気工事
- 351号道路改良新榎トンネル照明設備その2工事



# 1989-2001

OHARA HISTORY



OHARA HISTORY

1989

平成元年

- 代表取締役専務 皆川修三勲五等双光旭日章受章
- 社屋改修 構内融雪工事
- 新潟県知事より保守業務の推進及び災害防止にたがいて表彰される
- 長岡駅ビル改装に伴う電気設備工事

1990

平成2年

- 山田正 取締役就任
- 五十沢(発)CB設備工事並びに関連撤去工事
- 茨目(変)設備並びに関連撤去工事
- 清津川線電線張替工事
- 長岡市立青葉台小学校校舎新築電気設備工事

1991

平成3年

- 定年延長 58歳とする
- 社員旅行 香港・中国(初めての海外旅行)
- 東北電力(株)技術センター中越地区安全協議会発足 従来の送長会は発展的解消、同協議会加入
- JR東日本より鉄道事業に対して無事故無傷害により表彰される
- 関越自動車道小千谷IC～長岡JCT間視線誘導対策工事

1992

平成4年

- 定年延長 59歳とする
- 下平(発)ビーム除雪装置整備工事
- 大割野SS容変並びに関連撤去工事
- 礼拝(変)CB設置並びに関連撤去工事

1993

平成5年

- 代表取締役専務 皆川修三辞任
- 監査役 八子徳義辞任
- 大塚利弥 代表取締役専務に就任
- 布川新一 常務取締役に就任
- 皆川修三 常務監査役に就任
- 東北電力(株)発電電工工事研究会加入
- 社員旅行 韓国

1994

平成6年

- ビーム冠雪除雪装置 (東北電力(株)と共願)特許許可
- 就業規則一部改定する
- 定年延長 60歳とする

1995

平成7年

- 庭野秀二郎 常務取締役に就任
- 社屋改修 事務所1階改装工事
- 社員旅行 グアム島
- 東北電力(株)高田技術センターより7月11日大水害復旧工事で表彰



1992年(平成4年)会社案内



1994年(平成6年)発工研究会報掲載



1994年(平成6年)全社員



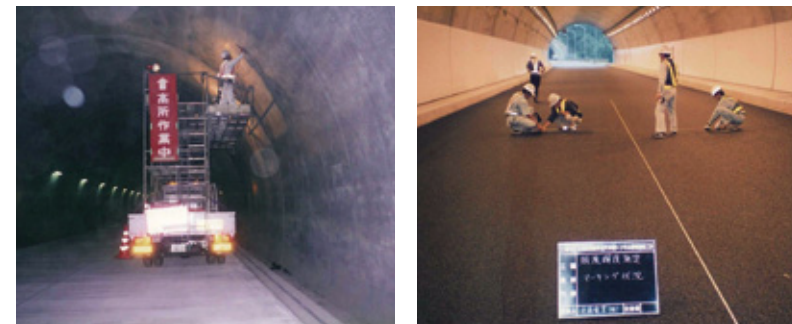
1995年(平成7年)送電現場



1997年(平成9年)タイ旅行



1998年(平成10年)送電・清水峠



1998年(平成10年)内線・天神堂TN着工



1999年(平成11年)発電現場



2000年(平成12年)永年勤続表彰



2001年(平成13年)安全大会

平成8年

1996

- 中川孝 取締役就任
- 新潟県警察本部長および新潟県安全運転管理者協会より優良安全運転管理事業所表彰
- 屋外鉄構除雪装置取付 魚沼(変)他2ヶ所
- 新北越メタル長岡線都市化対策工事
- 関越自動車道山本山トンネル照明設備改良工事

平成9年

1997

- 大塚利弥 代表取締役専務辞任
- 布川新一 代表取締役専務就任
- 山田正 常務取締役に就任
- 伴進 取締役就任
- 社員旅行 タイ、沖縄
- 東北発電工業(株)より7月11日大水害復旧工事で表彰

平成10年

1998

- 皆川修三 監査役辞任
- 大原興人 監査役就任
- 大原松夫 代表取締役社長死去
- 大原興人 代表取締役社長就任
- 大原興人 監査役辞任
- 鳥越義明 監査役就任
- 牛木哲雄 取締役就任
- 社屋改修 事務所他
- 新潟県電気工事工業組合より電気工事業界発展のための表彰

平成11年

1999

- 駐車場用地(西側)購入 原町2-2-6、原町2-2-7
- 社員旅行 中国、北京、上海
- 魚沼(変)リレー整備ならびに関連撤去工事
- 村上線保安対策工事
- 養護学校(高等部)校舎建設電気設備工事
- 上信越自動車道天神堂トンネル照明設備工事

平成12年

2000

- 東日本電気エンジニアリング(株)より事故復旧にて表彰
- 会社西側駐車場整備
- 五十沢(発)主変取替並びに関連撤去工事
- 上越A線保安対策工事
- 北陸自動車道徳合トンネル照明設備工事

平成13年

2001

- 越後湯沢(変)TC取替
- 三面線保安対策工事
- 三国川光ケーブル布設その3工事
- 姫川光ケーブル設置工事
- 特別養護老人ホーム岡南の郷新築工事電気工事



# 2002-2014

OHARA HISTORY



OHARA HISTORY

2002

平成14年

- 庭野秀二郎 常務取締役辞任
- 牛木哲雄 取締役辞任
- 小宮和弥 取締役就任
- 白井芳夫 取締役就任



2002年(平成14年)安全大会

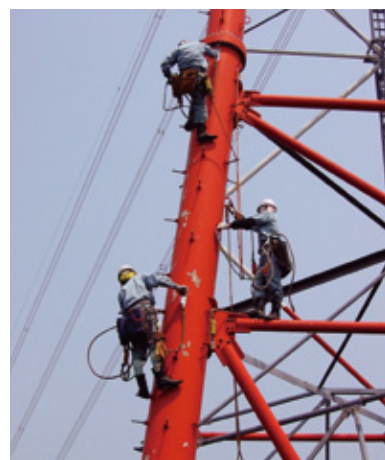


2003年(平成15年) ISO9001取得

2003

平成15年

- ISO 9001取得
- 社員旅行 四国
- 国土交通省北陸地方整備局湯沢砂防工事事務所 工事安全対策協議会 施工技術部門優秀賞受賞



2003年(平成15年)送電塔上訓練



2004年(平成16年)送電空輸

2004

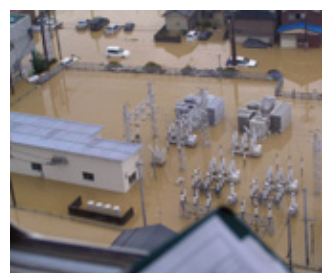
平成16年

- 就業規則全面改訂
- 代表取締役社長 大原興人 長岡商工会議所 副会頭就任
- 社有車全車リース車に移行
- 東北電力(株)副社長 中越地震応動体制に表敬訪問

2005

平成17年

- 浦佐(変)SC設置
- 刈羽線保安対策工事
- 山本ポンプ場電気設備工事
- 塚山保育園電気設備工事



2004年(平成16年)新潟福島豪雨



2004年(平成16年)中越地震

2006

平成18年

- 東北電力(株)より雪害復旧作業に対し感謝状授与
- 木津線電線張替工事
- 新潟(変)JR中之口線
- 塩沢地区光ケーブル伝送工事
- 水道局舎自家発電設備工事



2007年(平成19年)内線現場

2007

平成19年

- 新入社員3名入社(送電1、発変電2)
- 中越B線他がいし取替工事(4工区)
- 蓮湯(変)その他改良ならびに関連撤去工事
- 杉野沢(発)配開改良(除雪装置)
- 長岡市斎場建設電気設備工事
- 社員旅行 南九州

2008

平成20年

- 山田正 常務取締役辞任
- 伴進 取締役辞任
- 小宮和弥 常務取締役就任
- 白井芳夫 常務取締役就任
- 宮島了 取締役就任
- 田中紀夫 顧問就任
- 東北電力より中越沖地震復旧作業に対し感謝状授与
- 新入社員2名入社(送電1、発変電2)



2008年(平成20年)学生見学会



2008年(平成20年)送電現場



2009年(平成21年)送電現場



2010年(平成22年)発変電現場



2011年(平成23年)発変電現場



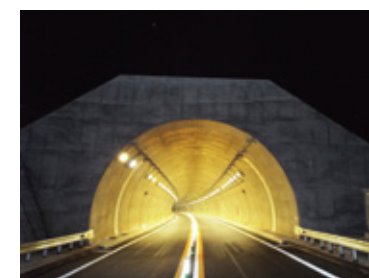
2012年(平成24年)内線・アオーレ長岡竣工



2013年(平成25年)パラグライダー救助表彰



2014年(平成26年)送電現場



2013年(平成25年)内線・JH小西TN



2014年(平成26年)安全パトロール



2014年(平成26年)50周年を控え会社ロゴマーク変更

平成21年

2009

- 布川新一 代表専務取締役辞任
- 白井芳夫 代表専務取締役就任
- 建設業許可 機械器具設置工業 追加取得
- 新入社員1名入社(発変電部)
- 社員旅行 東京

平成22年

2010

- 田中紀夫 相談役就任
- 小林邦夫 顧問就任
- 新潟県EV街中充電ネットワークに参加
- 東北電力より不具合箇所発見通知に対し感謝状授与
- 新人事制度導入
- 新入社員1名入社(送電部)

平成23年

2011

- 建設業許可 電気通信工業(特定)追加取得
- 建設業許可 鉄鋼造物、ほ装、水道施設工事(一般)追加取得
- 就業規則、退職金規程改定
- 東日本旅客鉄道(株)より豪雪対応に対して感謝状授与
- 東北電力(株)より除雪・地震対応作業に対して感謝状授与
- 新入社員2名入社(発変電部1、一般内線部1)
- 社員旅行 栃木・日光方面

平成24年

2012

- 鳥越義明 監査役辞任
- 水沢四郎 監査役に就任
- ISO14001認証取得
- ISO14001環境方針の制定と発表
- メンタルヘルスチェック実施
- 新入社員1名入社(送電部)

平成25年

2013

- 魚沼市パラグライダー救助活動に対し、小出警察署、魚沼市消防本部から表彰
- 新入社員1名入社(発変電部)
- 社員旅行 名古屋方面
- 揚川改良 赤岩トンネル非常警報設備工事
- 加三線保安対策53

平成26年

2014

- 田中紀夫 相談役辞任
- 50周年を控え会社ロゴマーク変更、周年ロゴ設定
- 発変電・金澤立美が優秀施工者として県知事表彰受賞
- 新入社員4名入社(送電部1、発変電部1、一般内線部2)





## OHARA 50周年記念対談

# つながる光、 ひろがる未来、 50年

第二代表取締役専務 大塚利弥  
第三代表取締役専務 布川新一  
第四代表取締役専務 白井芳夫  
常務取締役 小宮和弥



電気を通じてライフラインの一翼を担って50年。

地域に暮らす人と社員すべての幸せを願い繋いできたバトンに込められた出来事の数々は  
大原電業株式会社への愛情に溢れこの先の未来を照らしている。

**白井** 大原電業株式会社は、今年で創立50年を迎えます。私は平成21年4月から専務になりまして50年を迎えるにあたり、色々と調べていった中で、これはもう自分達だけの出来事ではなく、亡くなられた初代の皆川専務、それから二代大塚専務、三代布川専務、この方たちのご苦労の上に私達がいるのだという想いに至りました。そこで、そのあたりのお話を是非お聞きしたくて、会社を守り引き継いできたお二方にお越し頂きました。

**大塚** 振り返ると長いようで短いようで、ちょっとピンときませんが、ひと言で言えば感無量ですね。創業当時の話をしますと、まず親会社の大原鉄工所が、戦時中は国策会社として南方油田向けの石油の掘削機を主に生産していました。ところが戦争後、ぱったり注文がなくなって、何をやる

うかと途方にくれ、一時は鍋釜まで作ったと聞いています。昭和22年に社屋を建てまして、大原鉄工所電業部として発足したわけです。

**白井** 最初は大原鉄工所の一部署だったのですね。

**大塚** 初代の責任者は大塚弥三次という人でいろいろ苦労もあったようです。たまたま会社から2~300mのところに、当時の東北電力の営業所がありまして、近かった事もあり、足しげく通って東北電力とのつながりが出来たと聞いています。昭和39年に皆川修三さんが大原鉄工電業部部长として来られました。電業部も7~8年経って仕事をしているうちに、大原鉄工所では、労務管理が鉄工所と電業部では大分違ってまして不都合もあった事から、昭和40年、大原電業株式会社として分離独立しました。初代社長



# 大原電業を支える「三本の矢」



平成5年  
代表取締役専務就任  
大塚利弥  
第二代表取締役専務

は大原松夫さん、代表取締役専務として皆川修三さんが指名されました。皆川さんは包容力のある立派な方でしたね。

**白井** 設立当初は、社員に給料が払えないというような苦勞もあったと聞いています。その後、二代目として大塚さんに引き継がれたわけです。

**大塚** 昭和48年に皆川修三さんが新潟県電気工事組合理事長になり、新潟市に常駐するようになりまして、随分ご苦勞もあったようで、次の代表取締役専務として私に白羽の矢がたちました。

**布川** 当時、大塚さんは東京支社の営業課長でしたね。全然違う職種の所に来られ、ましてや東京は交通の便が良く自動車の免許がいらないうえです。ところがこっちは足がなければ仕事になりません。早速、免許を取って頂いてそれから活躍して頂きました。

**大塚** 勝手が違うことばかりで、初めは試行錯誤の連続で、布川さんにも迷惑をかけたと思います。

**白井** 大塚さんからバトンタッチされた布川さんは、パブルが弾けて公共事業の冬の時代を経験していますが、特に印象に残っているお仕事はありますか？

**布川** 工事そのものは電力の工事が多かったですが、入

札関係に参加するようになってからは、一般内線の方に重きを置くようになって、ようやくバランスの良い「三本の矢」になったと実感できた時が一番印象深いですね。官公庁の仕事をもたらすには点数が優先するものですから、今いらっしゃる小宮常務が一番ご苦勞されたのではないかなと思っています。

**小宮** 私どもの会社は電力系の仕事、役所などの一般内線、民間工事という「三本の矢」でまともまっています。その一本でもかけるとやはり会社自体の安定がなくなるのですが、今やっと「三本の矢」がまともまっています。これもひとえに、前専務様たちのご苦勞がやっと実ったといえるのではないのでしょうか。

**白井** 電力、一般内線、民間工事それぞれに好不調がありまして、うまく補完し合いながらこの50年をやってきたと言う感じです。お陰様で無借金という形で経営が成り立っています。

**小宮** 最近仕事をさせて頂いた工事を一部ですが紹介しますと、長岡市アオーレの電気工事、長岡市浄水場、中之島、栃尾のケーブルテレビ架空線などがあります。布川さんの時代から基盤を築いた高速道路関係の仕事も多くなっ

平成9年  
代表取締役専務就任  
布川新一  
第三代表取締役専務



ています。そのあたり、古い事をお聞きしたいのですが、よろしくお願ひします。

**布川** 昭和43年に終了しましたが、私が入った頃は奥只見の電源開発の工事が盛んな頃でした。最初は少なかつた官公庁関係にも力を入れ始め、県立六日町病院の電気工事、農業試験場や長岡高校をはじめ市内の学校関係を担当させて頂き、ようやく仲間入りさせて頂いたと言う感じでした。小宮さんから話が合ったように、高速道路のインターチェンジやトンネル等の電気工事を増やしてきました。官公庁の仕事も、今は軌道に乗って大分良くなっているようです。

**大塚** 布川さん以下、みんな一生懸命やってくれたおかげだと思います。私は国鉄の小千谷、宮内間の送電線の改良工事が忘れられないですね。昭和54年から6～7年続いた、鉄塔にして四十数基立て替えたという、かなり大きい仕事です。当時国鉄の送電線の線下組合の委員長がとても厳しい方で、よく工事停止になりました。今となっては良い思い出です。

**白井** その当時、送電関係の現場の責任者として3年くら

い関わったのですが、私はどちらかという現場をうまく回すということだけを考えていれば良かったのですが、今おっしゃったように委員長が厳しい方だったので、大塚さんも苦勞が絶えなかつたと思います。

**大塚** よく喧嘩もしましたが、飲み屋で一杯やったりして、うまくコミュニケーションをとることで、なんとか仕事も円滑に出来るようになっていきました。

**白井** おかげ様で工事が終わってから、国鉄から表彰状を頂きました。嬉しかったですね。

**小宮** 大塚さんが手がけられた社屋の新築についてはどうですか？ だいぶ苦勞されたようですが。

**大塚** 長町にあった会社が狭すぎるということで、昭和50年に今の原町に新築しました。基本構想は私が担当したのですが、一番苦勞したのは3階に併設した寮です。色んな規制があって、居室と風呂場、トイレ、食堂、賄い婦の部屋など、まとめるのに苦勞しました。それと、当時としては斬新な考えだと思いますが、1階事務所の隅に女性の更衣室を作りましてね。自分では一生懸命考えてつくったつもりですが…。今は、どうでしょうか。



# 信頼を糧に、 愛される企業として発展を続けます

**白井** そうですね、もう40年前ですし、その頃とは仕事の内容が変わってきていますので、手狭になっていることは間違いないかなと思います。

**大塚** これからのことは皆さんにお任せしますが、一つ気がかりな点がありまして、私が専務になって担当した仕事の中で役員定年制の制定と株式の社内留保、それと直接原価方式というやり方に改めたわけなんです、現在は怎么样了なっていますか？

**白井** まず役員定年制については大塚さんが設定されたそのものを今も引き継がせていただいております。株式も外に出していません。割合につきましては、大塚さんや布川さんの時代とほとんど変わらない状況です。直接原価方式についても変えていないですね。

**大塚** それを聞いて安心しました。

**白井** 私どもの基本的なスタイルというのは、電力、電気の仕事を通して一般家庭の方々のライフラインの一翼を担っているという意識で誇りを持って仕事をしているという事です。その上で今後の夢でもあり、現状の課題を少しお話しさせていただければと思います。現在の社員は社長を含めて69名おりますが、これを100人体制くらいにまでは

平成20年  
常務取締役就任  
小宮和弥



伸ばしていきたいと考えております。しかし、新しい事業を展開すると言うことではなく、それぞれの部門のすそ野を広げることによる事業展開を図っていきたくと考えております。一般内線部門では、現在12名の社員でやりくりしていますが、もう少し強化をして受注の拡大をしていけたらと思っております。先ほど今の時代は、どちらかという安定期ではないかという話もさせていただきました。しかし、電力関係においては、発送分離や電力の自由化という問題がありますし、また東京オリンピックに向けて電気工事の人手不足も心配されています。そういった厳しい状況の中で、きちとした利益を上げられる会社を堅持していくためにも、今後体質改善を一層進めていかなければならないと思っております。

**小宮** 今後は人材不足が考えられるという事ですが、私どもの後を継ぐ人の人材不足という悩みもございます。そのために社員教育ということを考えていますし、今まで大卒の学生の方はほとんど会社にはいませんでしたが、現在数名ほど入社しています。また会社の知名度が低いものから、テレビでPRし、今回50周年を記念しまして社有車に貼るロゴマークを大きくして一目で、これは大原電業だとわ

かるような車になっています。その辺も徐々に進めていきたいと思っています。

**大塚** 今、お話を聞いて、平均寿命も延びてきた事だし、役員定年制はそのままにして、もう少し延長してもいいんじゃないかと思うんですね。今後の検討課題にして下さい。

**白井** ありがとうございます。でもお二方もそうだったと思いますが、精神的にもすごい激務という感じがしています。止まってしまうと終わらだという、前に進んでいくんだと言う気持ちを常に心に持っていないと、だめなわけです。そうすると、定年制は今のままでないと思いたいです。

**大塚** 確かにそれはありますね。

**布川** 白井さんは激務というのを一番心配されているようですが、やっぱり健康管理が一番大事です。上に立つ人は十分に健康管理をしていただきたいと思っております。

**小宮** それから、当社は真面目な方が多く、仕事一筋でなかなか良縁に巡り合えない社員が多いものですから、仕事以外のフォローを会社で率先して行った事もありました。家庭を持つことで仕事と健康面も含めた生活の両方を安定させて欲しいと思っています。

**布川** 私が現役の頃もそういう傾向はありましたね。安心できる家庭もまた、仕事に打ち込める力になるはずですよ。

**白井** 私たちの仕事というのはどちらかという、黒子のな、表には出ない仕事だと思っています。経営に携わっている私達は、今以上に良い会社にして次世代に引き継いでいくのが大きな使命のひとつです。地域貢献も含め、一つひとつ地道にやっていく事。これが私達の基本的な考え方です。歴代の方もそうですが、他の事業には手を出さず電気屋一筋で進んできたという自負がありますので、大きな事はできませんが、地道に、社会貢献や会社の体質改善も

含めて前進していかなければと思います。

**小宮** 昨年、社会福祉法人へわずかですが寄付をさせていただきました。引き続き今年も続ける予定です。少しずつですが地域の方とのつながりも深めていきたいですね。

**白井** 50年を迎えるにあたって、この期を迎えるのは偶然ではないと私は感じています。ありがたい事に、アットホームな雰囲気も手伝い、ここ数十年社員の離職率ゼロという嬉しいデータもあります。社員全員で50年という節目をお祝いしたいと考えておりますし、これから先10年、20年、100年とずっと皆様に愛され続けていく会社にしていきたいと思っています。

**大塚・布川** 私たちは一線を離れましたが、大原電業の今後の活躍を影ながら応援させていただきます。

**全員** 本日はありがとうございました。



平成21年  
代表取締役専務就任  
白井芳夫





## 初心忘れるべからず

④ 送電部  
渋谷 豊

創立50周年を迎えるにあたり、これまでご努力、ご尽力を頂いた諸先輩方や協力業者の皆様へ心より感謝申し上げます。

私が入社したのは平成4年ですが、初めて現場に連れて行ってもらったのが当時現場代理人で頑張っておられた白井専務の現場でした。仮設の鉄板片付けをしていたのですが、どこから来たのか私と同じ様な作業服を着ている先輩らしき方々が目の前の鉄塔に上って行くので、私は白井先輩に「凄いですね」と言うと「なんて事はない。すぐに出来るようになるよ」と言われ、内心戸惑った事や初めての事ばかりで無我夢中だった事を今でも思い出します。「初心忘るべからず」新鮮で謙虚な気持ち、志を忘れずに自分の仕事と職場に誇りと充実感を持ち続け、今後も社業発展のため頑張っていきたいと思っています。



## 新たな歴史へ向かって

④ 一般内線部  
今井 直広

私は平成7年4月に入社し、現在は長岡市発注工事を中心に現場代理人や主任技術者の業務を行っています。

長岡市の工事では塚山保育園、斎場、長岡市役所（アオーレ長岡）、ニュータウン運動公園屋内運動場等市民生活に密着した施設の建設に携わることができました。

アオーレ長岡では日本を代表する建築家が設計する工事に携わる機会を得たことも、創立50年の歴史の中での諸先輩方による努力の積み重ねによることだと思います。

自分自身の技術向上と習得した技術のフィードバックを図り、新たな歴史を歩み始める「大原電業」に貢献できるように努力したいと思っています。



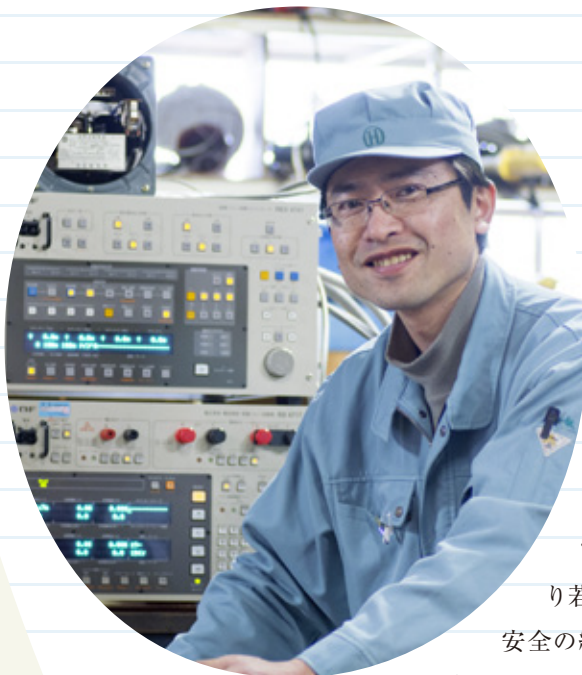
## 人のつながり

④ 発電電部  
小谷松 泰之

まず50周年にあたり、発電電部員として寄稿できることを光栄に思います。

私は入社して16年になります。専門学校の時、ある人と出会い「大原電業」という会社を知り入社しようと決めました。内定通知は松夫前社長で、入社時は興人社長でした。

当時の発電電は前年に忘れてはならない事故があり、ちょうど安全の変革期でした。そして、まだまだ職人気質の先輩方が多く、ビリビリした雰囲気でも若手が気軽に質問できるような感じではありませんでした。今では世代交代も進み和やかな雰囲気になり若手が話し易くなった反面、ぬるいなあと感じることもあります。技術と安全の継承は難しいですが、今まで50年と繋がってきたものを、これからも繋げていかなければという責任を感じています。そして、10年、20年先の当社がどうなっているか楽しみでもあり、また益々発展していることを期待します。



## 堅実性・安定性に感謝

④ 業務部  
前川 俊明

会社案内やホームページを見ると創業当時の十数名の社員と共に古めかしい社屋等が掲載されています。設立から50年、創業から68年間も会社が存続・発展を続けている大原電業。

途中入社5年目の私が会社の歴史を語る資格はありませんが、これもひとえに創業から18年間寡黙に着実に実績を積み上げてきたから電業部門として独立を果たし、更にそこから50年間、社訓に記されているそのままに誠実と感謝を忘れず心魂を込めて業務に当たり創意工夫を継続し続けてきた諸先輩方の努力、尽力があったからこそだと実感しています。

この堅実性、安定性を大いに感謝すると共に、これからは私自身がそれを継続・発展させていける一員になりたいと改めて決意しました。







撮影場所:アオーレ長岡

Ⓜ 大原電業株式会社

50周年記念誌  
平成27年3月